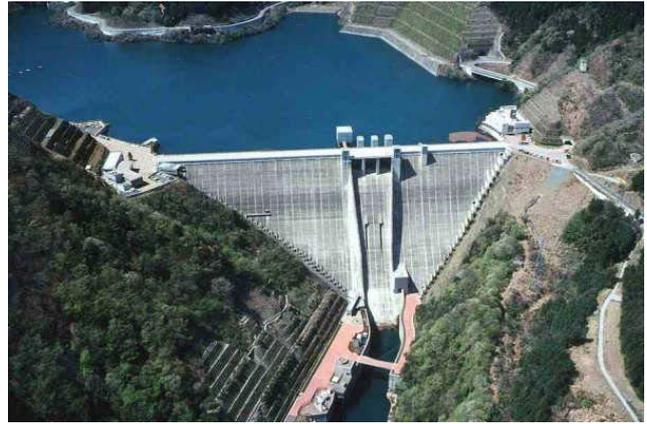


## 第630回建設技術講習会 現場研修事業の概要

### 1. 宮ヶ瀬ダム ..... 相模原市緑区・愛甲郡愛川町・愛甲郡清川村

- ・ダムの目的は中津川・相模川中下流部の洪水調節、沿岸農地への慣行水利権分の農業用水補給・中津川における河川生態系保全のための河川維持放流を目的とした不特定利水、横浜市・川崎市・相模原市等神奈川県全体の2/3の地域、県人口の90%への上水道供給、直下流に併設された神奈川県企業庁の愛川第一発電所による最大出力24,000kWの水力発電
- ・ダム建設によって生まれた人造湖の宮ヶ瀬湖は、神奈川県に欠かせない水源地のほか、恵まれた自然環境と、首都圏から日帰り圏内にあるというロケーションから、自然公園としての機能をもった観光スポットとして賑わっている
- ・宮ヶ瀬ダムには「宮ヶ瀬湖憲章」というものがあります。湖の水をみんなで大切にすることや、美しい周辺の自然環境をみんなで守ることなどをまとめたものです。この中で、自然を大切に、守り、育て、次の世代に伝えていくことを宣言
- ・ダム型式：重力式コンクリートダム・堤高：156m・堤頂長：約400m・堤体積：約200万m<sup>3</sup>  
(視察キーワード：治水・利水、災害対策、地域活性化等)



### 2. 新東名高速道路「厚木南IC」建設事業 ..... 厚木市戸田

- ・新東名高速道路は、神奈川県海老名市から静岡県を経由し愛知県豊田市へ至る高速道路
- ・東京・名古屋・大阪を結ぶ大動脈として期待
- ・現在の東名高速道路より山側を走るルートで、交通の分散が図られるため交通渋滞の渋滞緩和、利便性の向上が図られる
- ・2016年現在、静岡県御殿場JCTから愛知県豊田東JCTまで開通
- ・新東名高速道路の起点は首都圏中央連絡自動車道と接続する神奈川県海老名南JCT
- ・一部区間、海老名南JCTから厚木南ICは2017年度に開通予定
- ・総事業費は約7兆円、全線開通時期は2020年度を予定  
(視察キーワード：交通ネットワーク、ストック効果、防災対策等)



### 3. 東京2020オリンピック セーリング競技会場「湘南港」整備事業 ..... 藤沢市江の島

- ・この施設は、1964年大会時にセーリング会場として使用するため、日本で初めての競技用ハーバーとして整備
- ・1年を通じて気候が温和な地域であるため、数々のヨットレースが開催される国内有数の施設
- ・オリンピックの開催とそれに向けた取り組みを通じて、セーリング競技の魅力伝え、セーリングの普及と江の島におけるセーリング文化を発展  
(視察キーワード：東京オリンピック2020)

